



町のわたい

ゆい
今月の題字 佐々木 結さん（豊間根小6年）

町内各所で入園・入学式 新たな生活に胸躍らせる

多くの人が新たな門出を迎える4月、町内各所で入園式、入学式が行われました。10日には、わかば幼稚園（関菜利園長）で「第48回わかば幼稚園入園式」が行われ、男児1人、女児2人の計3人の園児が仲間入り。式で名前を読み上げられた園児は緊張しながらも「はい!」と元気よく手を挙げ返事をしました。関園長から「入園おめでとうございます。お兄さんお姉さんたちがいますから安心してください」との言葉と、頼もしいお兄さん・お姉さんたちの「一緒に遊ぼうね」という歓迎の言葉に目を輝かせ、幼稚園での新たな生活に胸を躍らせている様子でした。



「3つのライト」を周知 交差点で交通安全を啓発

4月6日、山田町交通安全対策運動協議会（会長・佐藤信逸町長）が春の全国交通安全運動・街頭啓発活動を行いました。今年は山田町交通指導隊や山田町交通安全母の会など、約50人が参加。長崎地区やびはんオール店前、国道45号線などの交差点で、ドライバーに旗やプレートを使い交通安全を呼び掛けました。今回の活動では、広報車を使用し「早めのライト、上向きライト、ライト（右）からの横断に注意」の「3つのライト」をドライバーへ周知。ドライバーらは、気を引き締めた様子で、安全運転を心掛けながら運転をしていました。

株式会社タカヤから温かな支援 下条バス停待合所の寄贈

4月8日、株式会社タカヤ（望月光雄代表取締役社長）から寄贈された下条バス停待合所の贈呈式が行われました。株式会社タカヤは、県から大沢地区防潮堤建設工事を請け負い、その工期は平成29年3月から令和2年3月までの長期に渡る大規模工事。工事完了までの3年間でお世話になった大沢地区の皆さんの役に立てればとの思いから、下条バス停の待合所を寄贈されました。式では、望月代表取締役社長から佐藤信逸町長に目録が手渡され、大沢12区（下条）行政区長の大川ヒメ子さんは「本当にありがたい」と笑顔で感謝の意を述べていました。

